

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名:札幌市 建設局 土木部

事業の名称:

都市計画道路3.4.62富丘通整備事業

実施都市名:札幌市

事業の目的

富丘通は、手稲区富丘から北区新琴似まで延長約3,850mが都市計画決定されており、本事業はそのうちJR函館線との立体交差点(富丘通こ線橋)を含む延長1,450mを整備するものである。

本事業は、JR函館線、三樽別川で分断されている地区を連絡する幹線道路として位置付けられており、沿線の土地区画整理事業による面的整備に伴う交通量増加に対応した道路ネットワークを形成するものである。

事業概要(1)

事業名:都市計画道路3.4.62富丘通整備事業

路線名:3.4.62富丘通

事業箇所:手稲区富丘1条4丁目～手稲区前田5条4丁目

事業延長:1.45km

幅員:20～28m(2車線)

総事業費:約43億円

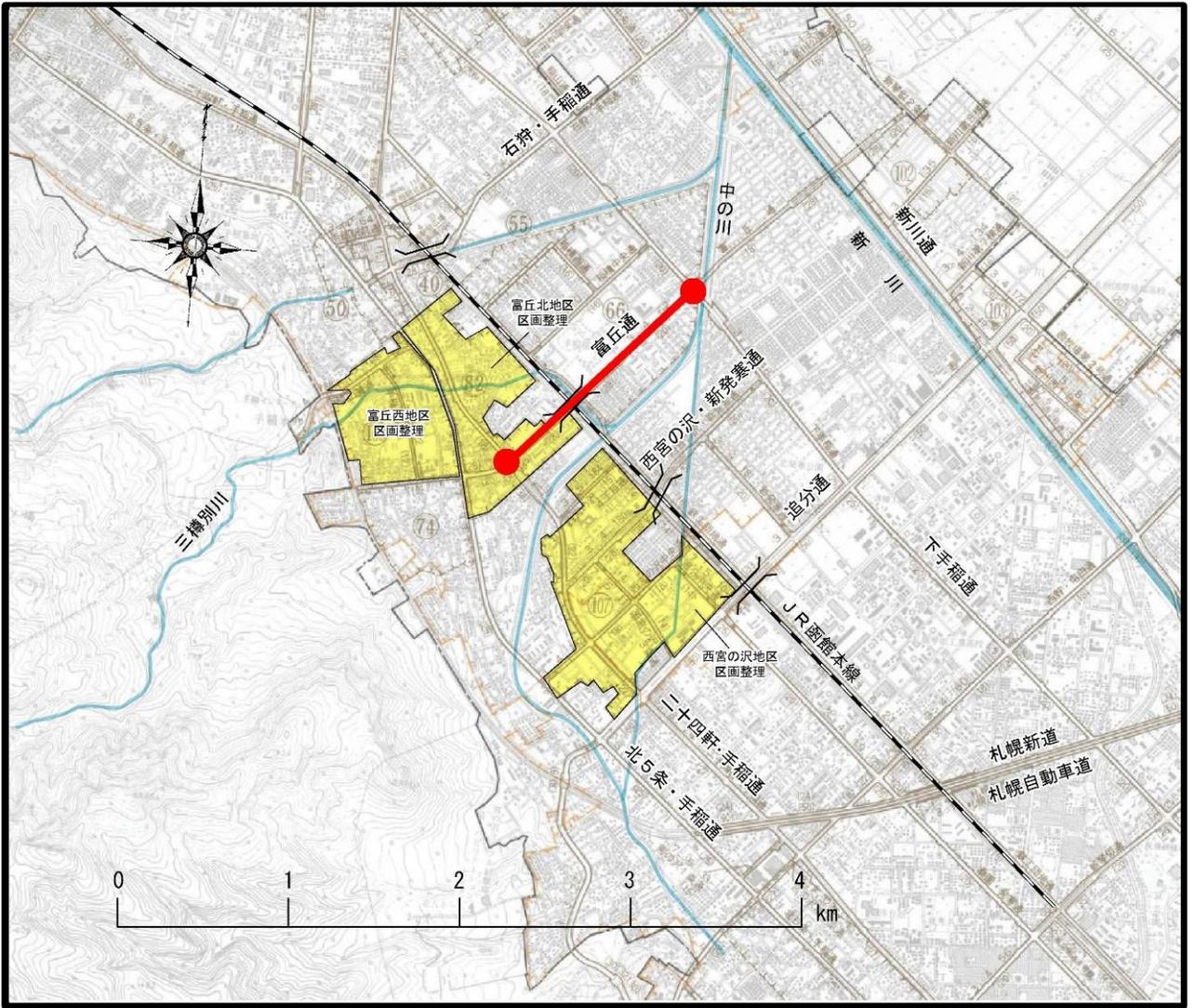
事業期間:平成10年度～平成17年度

事業概要(2)

本事業は、JR函館線や三樽別川により分断された地域交通の円滑性を確保し、沿線の土地区画整理事業の面的整備に伴う交通量増加に対応するため、立体交差(こ線橋)整備を行ったものである。

こ線橋は、JR函館線の高架を跨ぐために橋面までの高さが最大14.5mと高いことから、車道専用橋とし、その桁下に歩道橋を設ける2層構造としたことが特徴である。歩道橋は、エレベーター、スロープの設置によりバリアフリーに配慮し、隣接するJR稻積公園駅へのアクセスを向上した。

事業位置図

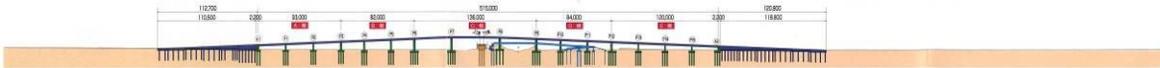


全体図(平面図・側面図・横断面図)

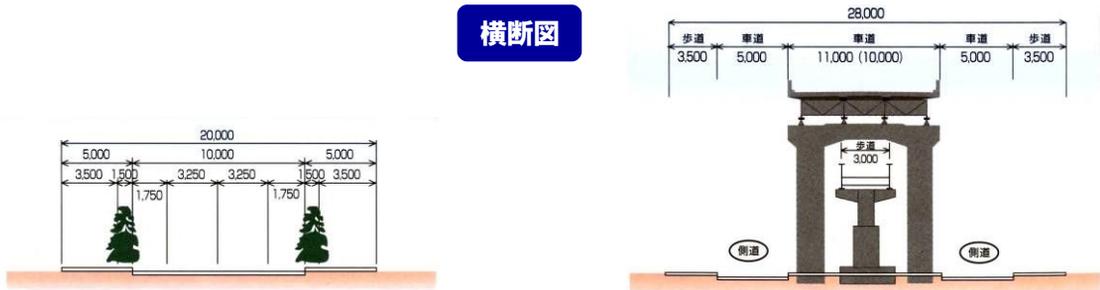
平面図



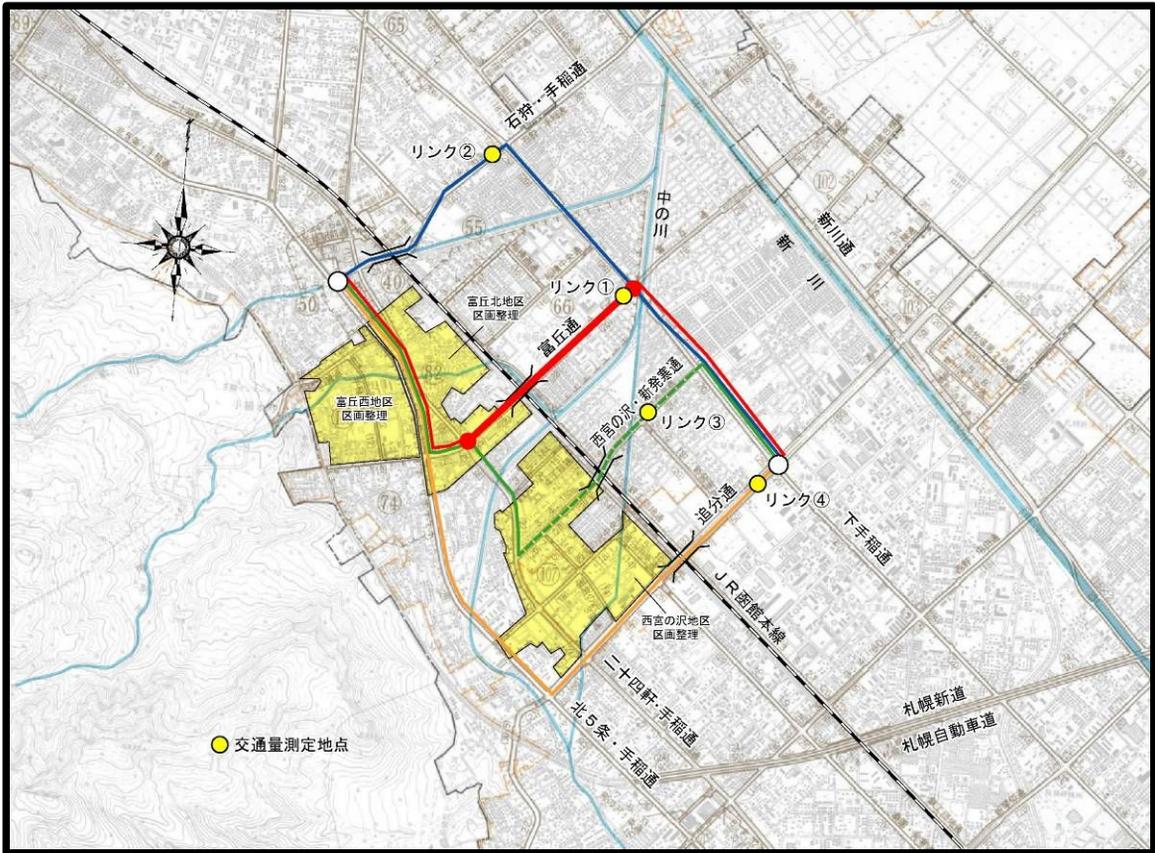
側面図



横断面図



富丘通の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 都市計画道路
3.4.62富丘通整備事業
路線名: 3.4.62富丘通
事業箇所: 手稲区富丘1条4丁目
～手稲区前田5条4丁目
事業延長: 1.45Km
幅員: 20m～28m(2車線)
総事業費: 約43億円
事業期間: 平成10～17年度

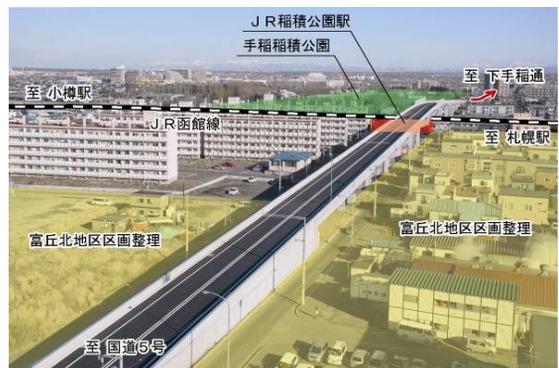
○交通量(12時間)調査結果

供用前 平成16年11月19日
供用後 平成18年11月16日

リンク1) 交通量 2,107→6,131台
リンク2) 交通量 17,290台→15,936台
リンク3) ※現在事業中
交通量 4,486台→3,830台
リンク4) 交通量 22,521台→19,376台

「整備効果」

- 沿線の土地区画整理事業の面的整備に伴う交通量増加への対応
- 車道橋の桁下に歩道橋を2層構造に設置。
- エレベーター、スロープの設置によりバリアフリーに配慮
- JR稲積公園駅へのアクセスの向上
- 沿線の稲積公園・ていねプールへのアクセスの向上



事業前写真

平成10年撮影



平成8年撮影

平成8年撮影



平成17年11月撮影



平成17年11月撮影

平成17年11月撮影

